

ORIC NEWS

翔飛

ひしやう

入居企業紹介

音楽コンテストを開催し 優れた音楽家を発掘

当社で企画運営している音楽コンテストサイトを通じて、
CMや各種動画などへ楽曲提供を行っています



動画のBGM、結婚式披露宴BGM、テーマソング
などを作りたい際にはお気軽にご相談ください。



音楽サイト運営/ウェブコンサルティング

株式会社クレオフーガ

詳細は7ページをご覧ください。

一本号の主な内容一

巻頭言

2009年度ORIC及び入居企業・卒業企業の活動

研修・交流会活動

入居企業紹介

イベント案内

No.28 (2010. 4)

「ORIC開設8年目を迎えて ～中四国新産業創出求心地岡山を目指して～」

岡山リサーチパーク インキュベーションセンター
センター長 谷口 人文



2003年4月の開所以来今日までに54者をORICから輩出しました。又現在28者が入居されており健全なテークオフに向け日々努力をされています。そして一歩ずつではありますが岡山県経済ひいては日本経済への貢献をしているものと確信しております。

さて昨今の世界の経済情勢では、BRIC'SやNEXT・ELEVENと総称されるアジア・南アメリカあるいは中近東を中心とした新興国の目覚ましいばかりの経済発展が注目されています。このような中で、21世紀に日本が持続的に発展するためには、多くの新規事業の創出が不可欠なことは論を待ちません。そして新規事業創出には「国内・近隣諸国の需要喚起への合致」と「より合理的な経済活動を喚起する新しいビジネスモデル」がとても重要になるでしょう。

ここ1、2年の日本経済は極めて沈滞しております。これに伴う雇用状況の悪化が原因の一つかもしれませんが、「若者を中心とした自信喪失現象」が巷間ささやかれるようになりました。これに対して私は次のような「激励の言葉」を贈りたいと思います、「日本人の遺伝子」に誇りをもとうと。

「日本人の遺伝子」には二つの特徴があります。一つは「他に類を見ない感性の豊かさ」であり、他は「唯一絶対神を持たない多神教による包容性」であろうと思います。まず「感性の豊かさ」ですがこれは「新しい事業創出の為のヒントや工夫・発明」にとつ

て大きな原動力となる筈です。夏の蝉の鳴き声は私たち日本人にとっては懐かしきすら感じる「夏を代表する重要な風物、趣き」であると思います。日本においては蝉の鳴き声を「蝉時雨」というような風流な言葉で表現します。ところが欧米の人たちにとっては「単なる雑音・騒音」なのだそうです。また「多神教による包容性」は物の見方の幅広さや柔軟性にも通じ、新規事業創成にとって極めて重要であろうと思います。このような「素晴らしい遺伝子」は、日本人の新規事業創出にとって有利に働くと思っております。

ORICは幸いにも「特徴ある支援機能」「豊富な外部支援環境（岡山県産業振興財団や岡山県工業技術センターなど）」「安価な入居費用」を有する全国的に見ても高い評価を受けている施設であります。インキュベーションマネージャーと支援スタッフは日ごとに支援機能の改良・強化を行い、「素晴らしい遺伝子を有する人たち」の創業・新規事業創出に向けた熱い思いをビジネスとして具現化できるよう県の全面的バックアップとご理解の基で支援してまいります。そしてその暁には必ずや岡山リサーチパークインキュベーションセンター（ORIC）が中四国新産業創出求心地となるであろうと確信いたしております。

今後とも岡山県はじめ関係各所の変わらぬご支援をお願いいたしまして、平成22年度年初のご挨拶とさせていただきます。

■ 2009年度 ORIC及び入居企業・卒業企業の活動

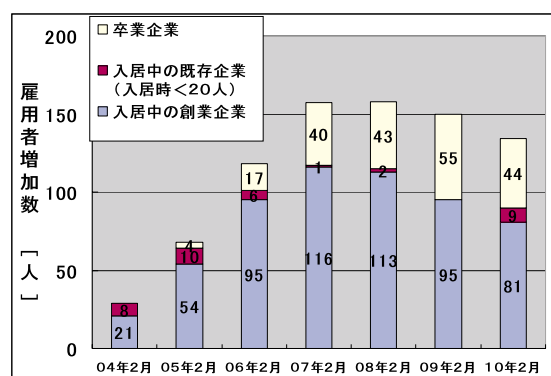
1. 【入居及び卒業企業数】

平成15年4月の開設以来、延べ82の企業・個人が入居しています。（ものづくり：45社、IT：37社）今年度の新規入居は8者（うち、個人3者）でした。また、これまでに54社が退去しており、そのうち、35社は、所期の目的を達成しており「卒業」と認定しています。今年度の退去は4社で、いずれも「卒業」でした。

平成22年4月現在、28社が入居しており（ものづくり：16社、IT：12社）、これら28社で全58室中40室を利用しており、入居率は69%です。28社のうち、ORIC入居に前後して会社を設立した企業（創業企業）は12社です。また、創業後5年以内の企業数に、企業設立を目指している個人を加えた数は19者となり、全入居者の68%となります。さらに創業後10年以内の企業まで含めると96%となり、若い企業ばかりです。

2. 【雇用の創出】 [2月末日現在]

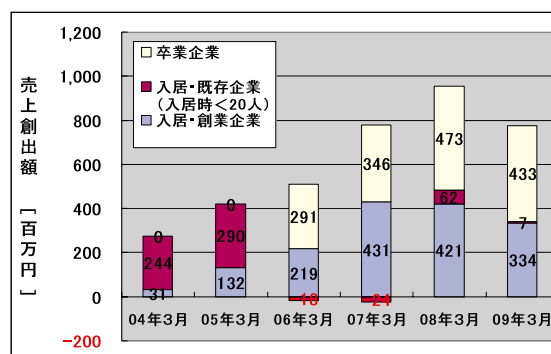
入居時の雇用者数（常勤役員を含む）が20人以下の既存企業と創業企業が、ORIC入居後に創出した雇用数は、入居中の創業企業が81名、入居中の既存企業が9名、卒業企業が44名でした。（既存企業は、ORIC入居後の純増をカウント）雇用者数は、リーマンショック後の不況の影響を受けて、2年連続の減少となりました。創業企業に限ると、3年連続の減少となりました。この間に卒業した企業もありますが、ORICに入居している期間内に事業を拡大して雇用を増大させることが困難になっている様子が見られると考えています。



3. 【売上の創出】 [昨年3月末日までのデータ集計]

08年3月に記録した9億円に比べて、09年3月の実績は7.7億円に留まりました。

雇用と同様に、不況の影響を受けていると考えられます。卒業企業の減少幅に比べて、入居中の創業企業や既存企業の売上高が顕著に減少しています。これは、事業基盤の弱さが影響している可能性があると考えています。雇用者数のデータから推計すると、2010年3月実績は、さらに悪化している可能性が高いと懸念しています。



4. 【メディアへの掲載】

メディアへの掲載は、企業名や商品の知名度向上に大きく寄与するため、創業支援活動の中で重要な位置づけにあります。今期からは、ORICが入居企業のニュースリリースを手助けする活動を重点化して実施しました。幸い、結果としては、昨年度よりも9件多い、81件の掲載がありました。

	04年度		05年度		06年度		07年度		08年度		09年度	
	新聞	雑誌	新聞	雑誌	新聞	雑誌	新聞	雑誌	新聞	雑誌	新聞	雑誌
入居企業	9	11	39	20	28	24	25	27	32	26	29	25
卒業・退去企業	0	1	7	3	5	3	0	3	1	2	5	10
ORIC 関連	4	3	4	4	3	8	3	4	9	2	7	5
小計	13	15	50	27	36	35	28	34	42	30	41	40
合計	28		77		71		62		72		81	

(ORIC スタッフルームにてコピー保管分のみ)

■ 平成22年1月度ORIC交流会及びセミナー

●入居企業紹介

「ヨーロッパにおける事業展開」 (株) 日本ステントテクノロジー

同社は純国産ステントを岡山から世界に発信する目的で起業した研究開発型のベンチャー企業です。国や県など多くの支援機関に支えられ、今月からヨーロッパでの販売を開始し製造業に脱皮しつつある近況について山下社長から説明がありました。岡山から世界に向けた事業として自社ブランドは“MOMO”を商標取得しました。昨年ドイツのポツダムにて欧州法人を設立し、事務所をデュッセルドルフに設置しました。イギリスとドイツで臨床を開始し症例を集めていますが「エクセレント」と評価を得ています。物流業者の選定や促販資料の作成も整い、今年1,500～2,000セットの販売を目指すが販売価格が高いオランダやスペインを優先し、価格が安いドイツでは損しない程度と考えているそうです。また、今後は採算に影響が大きい為替の動きも注意していくと説明がありました。



なお、後日ではありますが同社からリサーチパーク内に新拠点を取得したとの発表もありました。

注.ステントとは

急性心筋梗塞などの原因となる心臓の狭くなった冠動脈を広げて血流を改善する金属製の筒状医療機器で、その多くを輸入に依存しています。

●ゲスト機関紹介

「つやまの新産業創出への取組み」 つやま新産業開発推進機構



津山市及び津山地域の産業振興を図るため、平成8年4月に誕生した“つやま新産業開発推進機構”についてチーフアドバイザーの藪木氏より説明がありました。

同地域は企業誘致で産業振興を図ってきましたが、バブル期を過ぎ製造品出荷額も落ち込んできたため地元企業育成による内発型産業振興策に切り替え、その推進のため同機構が設立されました。機構のミッションである産業振興を税収と就業者の増加としましたが、企業規模の小さい同地域は行政主導の振興策が必要でした。ベンチャー企業を育てる環境と土壌がなかったため、機構がビジョン作成、プロジェクト立上げ、プロデュース役となって地元企業による連携やクラスターの取組みを目指しました。

そのプロセスでは、強いもの（地域ポテンシャルを有する産業、技術、商品）を選択し、集中支援を行うことで地域独自の産業創出を目指しましたが、地元企業の共同受注クラスター「津山ステンレスネット」や各種産業クラスターへの参加が実現しています。現在、220人の雇用に繋がる食料産業クラスターに取組んでいます、企業風土の打破など課題も多いのが現状です。

●ORICセミナー

「硬脆材料の加工技術」 岡山県工業技術センター

岡山県工業技術センター所長の横溝精一氏から、硬くて脆い材料の精密加工技術についてお話いただきました。加工技術全般について分かりやすく解説していただいた後に、水晶のレンズ状加工技術と単結晶シリコンの穴あけ技術について同センターでの開発技術を中心にお話していただきました。水晶はデジタル技術における「塩」と言われていますが、これを支えるのは「水晶の特性そのもの」のほかにこの特性を引き出す「安価な超精密加工技術」であります。同センターの開発した技術は研磨加工時にかかる圧力によって生じる歪みを生かし、巧みにレンズ状面を作製するというものです。これにより水晶の特性を今まで以上にシャープに引き出せるようになりました。また単結晶シリコンの穴あけ加工においても微細クラックの検出方法や新規ダイヤモンドドリルによる穴あけ方法の開発について興味深いお話をいただきました。



●入居企業紹介

「エンターテインメント商業化計画」 (株) ブランディングファクトリー



代表取締役の鎌尾氏より、同社が計画するエンターテインメント事業について詳細な説明がありました。楽曲提供、映像・デザイン・WEB作成、イベント・出版事業など多方面の活躍状況についてお話がありました。従来は中央でしか成り立たないとされてきたこのような事業を、同社の持つ幅広いネットワークと、新規開発するフリーペーパーを使った斬新な配信・販売システムを駆使して岡山でも成功させると言うものです。ORICでの新しい分野の新規入居企業として大いに期待されております。

●ゲスト機関紹介

「メディカルテクノおかやまの活動と最近のトピックス」 メディカルテクノおかやま

コーディネーターの奥野氏より、設立の趣旨、活動状況を中心にお話がありました。岡山県は県当りのGNPは国内23位でほぼ中位に見えますが日本全体の0.81%しかないのだそうです。その中にあって唯一上位にランクされるものが人口当たりの医療・福祉関連大学数であり、日本国内でベストテンに入っているとの事です。この強みと物づくりの強みを生かして「メディカルテクノバレー構想」が計画されこれを具現化するための中核事務局として「メディカルテクノおかやま」があります。このような環境作りの中でナカシマメディカル社や日本ステントテクノロジー社がスーパー特区に指定されたりあるいは医療福祉関連ベンチャーが11社も創業されるといった具体的成果も輩出されてきております。最近では岡山メディカルイノベーションセンター（OMIC）が設立の認可を受け、平成23年4月から最先端の分子イメージング装置を駆使した新しいがん研究拠点として稼動することになりました。



●ORICセミナー

「知っててよかった労働・社会保険など各種法令の知識

～トラブル防止のために何をすべきか、書面は大切です～」板谷社会保険労務士事務所



標記のタイトルで、①労働・社会保険の申請・届出、②労働法令の順守、③最近の労働法令改正の流れ、の3点について、事例を踏まえてご説明いただきました。

まず、板谷氏が強調したのは、「トラブルを未然に防ぐこと」、そのために、「早期に専門家に相談すること」の重要性でした。労働保険や社会保険は、いろいろな面で私たちに関係しているにも関わらず、そのルールについては、結構無頓着でいる経営者が多い。しかしこれらの法令についての関心が沸くときは、すでにトラブルが発生してしまったか、解雇などの重大局面に

直面したときだ。また、経営者が法律を十分に理解していないために、後々トラブルを発生させるような対応を行っていることも多い。そのような場合を想定して、板谷氏は数多くの事例を紹介してくれました。

雇用保険や社会保険の加入の条件から始まって、退職のルール、自己都合退職を会社都合退職にしているそれが露見した場合のペナルティー、期間の定めのある労働契約についての各種制約など、各事例に特有の臨場感があり、必然的にどうすればいいのだろうと考えてしまい、一人で悩んでいてもだめだ!という感慨が得られる有効なセミナーでした。

■ 平成22年3月度ORIC交流会及びセミナー

●入居企業紹介

「機能性納豆菌（DC-15菌）を利用した事業展開」（株）ニューバイオエンタープライズ

新入居の（株）ニューバイオエンタープライズの山本社長から、「機能性納豆菌（DC-15菌）を利用した事業展開」と題して、同社の事業紹介がありました。韓国の大学で発見されたこの菌を利用した納豆は、食後の血糖値の上昇を抑制する効果があるとのことで、機能性食品としてこの春から提携先企業の地盤である東海地方で販売を開始する予定とのことです。また、今後、この菌を利用して、サプリメントやシリアル食品にも事業展開する計画とのことでした。同社の今後の事業展開が期待されます。



●ゲスト機関紹介

「岡山県産業・技術 アピール事業紹介」（財）岡山県産業振興財団 技術支援部



「岡山県産業・技術アピール事業紹介」の題で、(財)岡山県産業振興財団がこの1月より提供している新サービスの紹介がありました。この事業は、県内の魅力ある企業やその商品を、東京や大阪の企業にアピールし、商談にまで持ち込む支援事業です。企業は、「アピールシート」に自社商品の特徴などを記載して申請することで、無料でこのサービスを受けられるそうです。すでに20件の申請があり、6件まで面談に持ち込んでいます。新商品は、なかなか顧客側の理解を得られず、面談もままならないことが多いのですが、この制度を利用すれば、大きく可能性が開けます。ただ、高木氏によれば、面談に持ち込むには斬新性や差別化などの「ネタ」の良さが左右するとのことでした。是非、この有利な制度をご利用下さい。

●ORICセミナー

「伸びる起業家はここが違う～14年間の起業家支援経験から～」 くらしきベンチャーオフィス

講師の飯田氏は岡山県内の起業家支援・インキュベーション活動に14年間の永きに亘り関わってきた方ですが、90年代の3回の米国ベンチャー研修でその後の日米逆転の原動力はベンチャーにあると感じ活動のバックグラウンドになったそうです。飯田氏も最近は起業家に厳しいことを言えなくなり引退を意識するようになったので、このセミナーを14年間のレビューをする機会と考えられたそうです。

起業家への支援については最初に起業家精神（能力）を伸ばす支援で起業家自身の価値を伸ばすこと、次に企業価値を伸ばすのが良い順序であるとのことでした。その点で起業家が伸びるには起業経験のあるメンターの存在が重要で、逆に恵まれたインキュベーション施設では起業家が伸びない傾向があると言った指摘や、起業家に必要な条件、鉄は熱いうちに打ては起業でも言えること、日本社会での厳しい起業家の立場、など多くの示唆に富む指摘がありました。



■ 第22回IT研究会 「インターネットセキュリティの現状」と「集金代行業務」

平成22年3月5日（金）に、エレクトロニック・サービス・イニシアチブ（有）の大垣靖男氏、（株）アプラスの鈴木悦美氏の2名にご講演いただきました。セキュリティコンサルタントである大垣氏は「インターネットセキュリティの現状」と題し、危険にさらされているインターネット世界の最新の状況を分かり易く説明いただきました。Web開発はどんどん複雑化しており、その上多くの場合脆弱なツールを知らずに使っています。問題が見つかって直ぐに対策が取られないケースもあります。脆弱性を正しく理解した上で、入力は全て厳格に検証し出力はエスケープする基本の基本を守ることが一番の対策だそうです。

鈴木氏には銀行店舗網やコンビニエンスストア網を活用した「集金代行業務」を説明いただきました。煩わしい集金業務から解放される口座振替サービス、Web口座振替受付サービス、バーコード付振込用紙を利用したコンビニ集金代行サービス、パソコンや携帯電話から支払うことが出来るペイジー・デジタルコンビニ決済サービス等IT企業に役立つ情報が満載でした。中でも全国4万店舗と2万4千局の郵便局を利用出来るコンビニ集金代行は、いつでも、どこでも支払い可能でお客様の利便性が高いサービスとして注目されています。



入居企業紹介

株式会社クレオフーガ



代表者 代表取締役 西尾 周一郎

連絡先 〒701-1221 岡山市北区芳賀5303 ORIC 212号室

TEL 086-286-9151 FAX 086-286-9152

URL <http://creofuga.jp/>

株式会社クレオフーガは、西尾社長が岡山大学在学中に設立したIT企業です。インターネット上で音楽コンテストを開催するウェブサイト「音楽コンテストコミュニティ クレオフーガ」(<http://creofuga.net/>)を企画運営しています。

同サイトの会員は3,600名を有しており、登録楽曲数は約3,000曲。音楽コンテストを開催すると100曲～600曲など多くの楽曲が応募されます。コンテストに応募された楽曲の中から、優秀な作品を企業などに提供し、音楽家の活躍の場を創出しています。

最近では、岡山の市場「岡ビル市場」の歌の提供をはじめ、岸和田競輪の大会の入場曲を手掛け

たり、オンラインゲームのBGMの楽曲提供を行ったりと楽曲提供の幅を広げています。

また、同社では、音楽コンテストサイトを開発してきた技術力を活かし、法人や行政向けのコミュニティサイト、会員サイトなどの開発も手掛けています。開発環境にRubyを採用することにより、少人数短期間での効率良い開発を実現しています。

「自分の作品を世に出したい人と、良質な楽曲を求める企業などをつ結びつけるのが当社の仕事。ビジネスを通じてプロ・アマを問わず音楽家を応援していきたい。」と西尾社長は意気込んでいます。

■ 5月21日（金）にセミナーとバーベキュー交流会を行います!!

セミナー講師は西武ライオンズで活躍し、四国リーグを創設した石毛宏典氏にお願いしました。野球に対する情熱から日本発の地域リーグを立ち上げた石毛氏は起業家であり、ORIC入居者への熱いメッセージを期待したいと思います。

セミナー終了後、ORIC中庭で石毛氏と四国リーグの選手も参加してのバーベキュー交流会を開催します。石毛氏との会話から企業経営についてのヒントが得られるかも・・・。

なお、交流会参加には事前登録（名札を作成します）と参加費千円が必要です。

◆日時：平成22年5月21日（金）

Iーセミナー： 〈時間〉15:00～17:00 〈場所〉テクノサポート岡山 大会議室
IIーバーベキュー交流会： 17:30～19:30 ORIC中庭
（時間は現時点の予定で、変更になる場合があります）

新入居者紹介

2009年11月に開催されたビジネスプランコンテストと12月に開催された第27回入居審査会により下記4者の入居が決定しました。

入居内定企業名	事業概要	所在地	分野
ウエルライフ コミュニケーションズ(株)	・医療福祉分野における情報システムサービスの提供	東京都	IT
(株)ニューバイオ エンタープライズ	・血糖値上昇阻害活性含有納豆菌等 機能性納豆菌の開発・製造、販売	岡山市	バイオ
(株)ブランディング ファクトリー	・フリーペーパーによる音楽配信、販売システム（聞くフリーペーパー）の開発	岡山市	IT
(株)オートメジャー システムズ(設立予定)	・生体液体を含む各種検体特性（特にpH）の自動計測システムの開発と事業化	岡山市	機械

入 居 者 募 集 中 !!

センターでは随時入居のご相談に応じています。お気軽にお問合せください。

■ 施設使用料・空き室状況

（2010年4月現在）

施設区分	面積	使用料の月額 (減額後の使用料※)	部屋数	空き室数
研究室小	約 25㎡	45,000 円 (22,500 円)	22	10
研究室大	約 50㎡	88,000 円 (44,000 円)	30	5
試作開発室	約 100㎡	175,000 円 (87,500 円)	6	3
創業準備室	5㎡／ブース	5,000 円	6ブース	5ブース



研究室大



研究室小

※創業5年未満の会社及び個人は、入居後3年間は使用料が半額になります。

■ 次回募集

原則として3ヶ月ごとに入居審査会を開催しています。

次回は5月末までに事業計画書を提出された方を対象に、6月中に開催の予定です。（創業準備室への入居は随時受付けています。）

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.oric.ne.jp>

